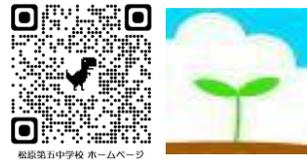


# NOBIRU



## 1. 公立一般選抜を受験する人へ...

3月11日(水)は公立一般選抜、12日(木)は支援学校の試験があります。入試当日の持ち物や注意事項などは前回の進路通信でお伝えしました。受験票を発行できるようになっている人は、受験票の記載内容や二次元コードを読み取った先にある注意事項などを必ず確認してください。それを踏まえた上で、再度注意事項を確認します。

- ①入試の準備は前日までにしっかりと行い、前日は早めに寝て、入試当日に備えること。
- ②集合時間を確認し、時間に余裕を持って高校へ向かうこと。
- ③高校までの経路を確認すること。(できるだけ公共交通機関。自転車不可の学校が多い。)
- ④入試当日、発熱など緊急事態が起こった時は、五中に電話すること。

**072-339-2505** 3月11日(水)午前7:00~7:20

- ⑤追試験の制度はあるが不利です。入試当日まで体調管理をしっかりと。

## 2. 公立一般選抜の合格発表とその後

合格発表は、3月19日(木)午前10時になります。オンライン出願システム上で合否を確認してください。合格者は、その後に入學手続きがあります。高校によって日程は違いますが、五中から受験する学校は、合格発表の日の午後合格者集合日がある学校が多いようです。必ず入學手続きをしてください。その際、入金や手続きなどでオンライン出願システムを使う学校もあります。入金を忘れていて、あやうく入學取り消しになりそうになった人もいました。合格者集合日に説明があると思うので、**忘れないようにすみやかに入金してください。**

残念ながら不合格だった人は、**必ず五中へと連絡してください。**その後、併願先の私立高校の入學手続きを行ってください。もし、二次選抜が募集されている高校を受験する場合は、担任との懇談を行い、一般選抜の時に行った時と同じ作業を行う必要があります。

## 3. もうすぐ卒業式~卒業する君たちへ~

いよいよ卒業式の週となりました。進路通信も今回が最終号となります。皆さんにとって、中学校3年間はどうかだったでしょうか。嬉しいこと、楽しいこと、辛いこと、苦しいこと、いろいろあったと思います。その中で、あなた自身は何を感じ、何を考え、何を身につけてきたのでしょうか。特に、この1ヶ月間は、「卒業する君たちへ」をテーマに、3年間のふり振り返りや多くの講師を招いての聞き取りなどを



してきました。義務教育段階を終えて次のステージに行く皆さんにとって、できるだけ多くの話を聞いて、感じて、考えてもらう時間となったでしょうか。中学校で積み上げてきたものを、進学先でも活かしてほしいと思います。

しかし、残念ながら、高校によっては1年後には1クラスぐらいの人数が辞めることもあります。卒業生の先輩たちも言っていたように、その理由はさまざまですが、授業についていけずテストで赤点を取り、単位を落とすことによる留年もその一つです。中学校と高校との違いを理解して、いきなり躓くことがないようにがんばってください。応援しています。

### 中学校と高校との違い

- ①中学校の学習範囲は理解していることが前提

学校によっては学び直しとして中学校の内容の復習をしてくれる学校もありますが、多くの学校は中学校の学習範囲を理解していることを前提として授業が展開されます。私立高校や専修学校専願など、早めに受験勉強が終わった人もいると思いますが、再度、気持ちを切り替えて春休み中も学習に取り組みましょう。

- ②予習が必須

高校の授業は、授業のスピードも難易度も中学校とは違います。中学校でも、同じことを言われてきたと思いますが、義務教育学校とその上の学校では、かなりの差があります。そこで必要となるのが予習です。部活動などで忙しい人もいると思うので、全ての科目というわけにはいかないでしょうが、予習を前提として進む授業もあるので、そうした教科はしっかりと予習をしていないとついていけません。例えば、古典は次の授業で扱う古文を現代語訳する、英語は英文を日本語訳するなどです。しっかりと予習しましょう。

- ③圧倒的に多い科目とテスト

高校では授業科目数が増え、テストの数も増えます。例えば、数学は「数学I」と「数学A」、国語は「現代文」と「古典(古文)」に分かれます。当然、別の科目なので、それぞれにテストがあります。中学校のテストは大体1~3日ですが、高校では4~5日行われることもあります。

- ④文理選択や選択科目による専門化

高校に進学すると、いずれ「文理選択」や「科目選択」をしなければならぬ時が来ます。(文理選択は「文系」と「理系」の選択、科目選択は理科ならば「化学」「物理」「生物」「地学」などの科目の選択です。)



これらの選択によっては、受験できる大学や学部が限られることもあります。「高校に入学したばかりなのに、もう大学受験?」と思う人もいるかも知れませんが、高校によっては1年生で将来を左右する選択をしなければならない学校もあります。少しずつ自分の将来や大学について興味を持って考えてみてください。

**よりよい高校生活のために、準備するのは「今」です。**